



問 防災課 ☎724・3218

地震が起きたら...

身の安全の確保を最優先!

- ▶ 机の下に隠れて身の安全を確保する
- ▶ 倒れたり物が飛び出す家具から離れる
- ▶ 慌てて外に飛び出さない

揺れが収まったら 二次災害に備えましょう

- ▶ 火が付いていたらすぐに消す
- ▶ 家の中の安全を確認して出口を確保する
- ▶ スリッパや靴を履く

落ち着いたら周囲の状況を確認 避難の必要はありますか?

当てはまれば 避難が必要

- ▶ 自宅が倒壊したり、居住が困難なレベルの損傷があるか
- ▶ 自宅からの出火や、隣家の火事が延焼する等の二次災害の恐れがあるか
- ▶ 自宅近くで崖崩れ等の土砂災害の恐れがあるか

上記のポイントに
問題がない

在宅避難

上記のポイントで倒壊や
火災等の恐れがある

避難施設へ避難

在宅避難とは...

災害が起きた時に自宅で身の安全が確保され、住み続けられる状態であれば、自宅で避難生活を送ることで。

避難とは「難」を「避ける」ことです。避難施設に行くことは選択肢のひとつであり、安全が確保されている場合は自宅で過ごしましょう。

慣れない集団生活や環境の変化による心身への負担、感染症への心配も避けることができます。また、自宅以外の親戚等の家へ避難することも併せて検討しておきましょう。自宅での避難生活ができるように、日頃から備えておくことが大切です。

災害が起きてから準備を始めては間に合わない! 2面で事前の備えを確認しましょう